



2011年9月号  
茅野市社会福祉協議会  
茅野市ボランティア・市民活動センター  
TEL 73-4431  
FAX 73-8030

## 情報ネットワーク

**9月主な予定** (総合福祉センター使用団体 & V・市民活動センター事業)

第1・3(月) かにさん(収集整理V)  
第1・3(金) まほうのことは(手話学習V)  
第2・4(火) 要約筆記ひまわり(要約筆記V)

星の会(点訳V)

第2・4(水) 手話ダンス千の風(手話ダンスV)  
第2・4(金) どさゆさ(演歌体操V)  
エンジェル絵手紙の会(絵手紙V)

毎週(金) すずめのお宿(いきいきサロン)

1日(木) 傾聴パートナー あ・うん(傾聴V)

3日(土) 災害ボランティアセンター立上

・運営訓練(議会議棟)

6日(火) 腹話術友の会

8日(木) どっこいしょ喫茶(どっこいしょ広場)

14日(水) シャララほっとサービス

運営委員視察研修

20日(火) ひだまり(傾聴V)

22日(木) 男性介護者の会

26日(月) しあわせの喫茶店しゃべる

27日(火) ひざしの会(情報紙ふきこみ)

28日(水) 希望の旅(新潟県上越市)



## ふれ愛フェスティバル パネルディスカッション レポート

《茅野市が被災した時に私たちは何ができるか》 ～ パネリスト発表の要旨 ～

要約筆記グループひまわり 山本博子 さん

聞こえが不自由な方に情報を伝えるときは、文字で伝えたら良いのではないかな。

親子サークルベネロベ 後藤智佳世 さん

避難所生活では子どもにストレスを与えず、周りとのコミュニケーションを取ることが大切。

北山ボランティアの会 湯田坂重子 さん

まずは自分の命を守る。次に家族、集落や地区の人。自分が被災しなければ、活動に参加できる。

茅野マジッククラブ 武藤昇 さん

臨時には活動できないが、落ち着いてから避難所に向きマジックを披露してほっと一息着くこと。

会場から

- ①ボランティア自身が高齢なので不安。
- ②子どもの通学路が長いので心配。
- ③隣近所の関係が希薄になっている。どこにだれがいるか地域での備えが大事。

会場は和やかな雰囲気包まれ、何かあった時にはがんばろうということを参加者の皆さんと共に確認できました。



## 支援物資提供にご協力ありがとうございました

先月号で募集をしました支援物資の提供につきましては、50組の団体・個人の皆様よりご協力いただき、約160キロの物資を宮城県伊原津地区に活動拠点を構える『市民ネット石巻』に8月11日に発送しました。

現地における被災者への配布活動については、社協のホームページに掲載する予定です。



## 素敵な思い出作れたかな？

7月下旬から4週間、約1,000人の親子が福島県から茅野市で夏休みを過ごされました。福島県内の一部では原発事故の放射線の影響から、子ども達が屋外で遊ぶことも制限されているそうです。

「思い出作り応援隊」で参加されたボランティアの方々は、魚のつかみ取りやサッカー・ドッチボールなどの遊びに、子ども達と一緒に汗をかきながら、沢山の笑顔に出会いました。



## 『緑のカーテンコンテスト』を開催します!!

『たまご』5月号で紹介しました『緑のカーテン大作戦inちの〜地球を冷やそう〜』について、コンテストを実施します。“緑のカーテン”が一番豊かな時期の写真と作品のコメントをそれぞれA4判サイズにまとめて、ふるって応募ください。

応募いただいた作品は、10月に茅野市役所の1階ロビーに展示し、市民の方々より投票をしていただきます。素敵な作品を、ぜひご覧ください。

投票で選ばれた優秀作品には、茅野市社会福祉大会において、記念品を贈呈いたします。

なお、作品の展示期間および表彰につきましては、来月号で詳細をお知らせします。

(応募期間) 9月5日(月)から30日(金)まで

(応募先) 茅野市社会福祉協議会 ボランティア連絡協議会事務局 TEL 73-4431

(応募用紙) 社協事務局に取りに来ていただくが、社協ホームページより様式をダウンロードしてご提出下さい。

<http://www.sharara.or.jp/>